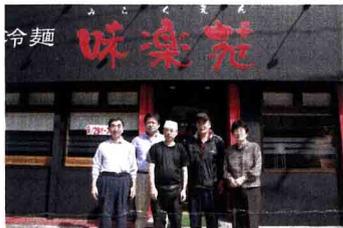




埼玉初中運動会での張愛那(初1)ちゃん

被災地だより-復興への歩み

■大船渡・朴東出さんの「味楽苑」新店舗（ショッピングセンター「サンリア」の向い）が9月29日開店した。震災の津波による流失・全壊した同胞の店舗としては「復興」第1号となる。3ヶ月に及ぶ準備期間を経て震災から6ヶ月ぶりの営業再開となった。27日には総連本部、商工会、女性同盟県本部の代表が開店祝いに駆けつけ朴さんを激励した。（写真左下）商工会ではこの間、契約から業者との折衝などにも立会い何度も大船渡に向かい開店準備をサポートした。■李参一さん新店舗「大船渡海鮮幸寿司」（東京都武蔵村山市）を総連本部崔委員長が10月3日に訪ねた。（写真右下）9月1日から営業し、従来の店主の時代からの常連さんたちを大事に、そして大船渡で長年親しまれた味をお客さんに喜んでもらおうと日々、がんばっている。また「朝日新聞」10月5日の多摩版に東京に移転することになったいきさつなどを紹介する記事が大きく掲載された。■他の被災同胞たちも事業再開をめざし悪条件のなか毎日、奔走している。



北東北 3 県合同経済講演会

岩手・秋田・青森の北東北3県の青商会、商工会、ウリ信各支店が共催する経済講演会が9月7日、花巻温泉ホテル千秋閣で開催された。

講師は「堂島ロール」で有名な㈱モンジュシュ代表の金美花さん。

幼稚園から大学まで民族教育を受け8年間の民族学校での教員生活で得たもの、その後起業し、現在に至る過程について話をされた。

まったくのシロウトで飛び込んだ「ケーキ業界」のなかで幾多の困難をプラス思考と前向きの姿勢で、乗り越えながらピンチをチャンスに変えてきた話を淡々とした語り口ながら感銘深く語った。

講演ののち、懇親会が催され、講師への質問や講演の感想を参加者たちがスピーチしながら親睦を深めた。



ハッキョだより

■崔慧瑛（高2）さんが通う、東京中高運動会が10月2日、行なわれた。学校創立65周年の年の運動会として、学生たちは練習の成果を存分に見せてくれた。（写真右下・クラブ紹介で空手の型をする慧瑛さん）■張侑那さん、愛那さん（大船渡・張英敏さんの娘達）が通う埼玉初中の運動会が9月23日行なわれた。ウリハッキョで初めての運動会で姉妹ははつらつとした姿を見せて両親とハンメを喜ばせた。慣れない電車通学にも弱音を言わず毎日、元気に学校へ通っていると事です。（写真左下、左から2番目が侑那さん。）

県南会「歳祝い」

10月11日、県南会・会員朴光成さんの歳祝いが花巻温泉にて行なわれた。代表幹事の李秀孝さんのお祝いの言葉、車鴻さんの乾杯の音頭に続き朴さんが謝辞を述べた。朴さんはこれからも同胞との絆を大事に仕事に励んでいきたいと、このような場を設けてくれた仲間から心から感謝すると述べた。なお、会に先立ち親睦ゴルフコンペが開催された。



いもじょ先掲示板

■ 北海道朝鮮初中高級学校

創立 50 周年記念式典

日時：10月22日(土)

場所：11時～記念式典 (北海道ハッキョ)

18時～記念祝賀宴 (札幌パーク H)

■ 「中等教育実施 65 周年記念中央大会」

日時：10月29日(土) 午後2時～

場所：東京朝鮮文化会館

■ 東北学校「コッポオリフェスタ」

日時：11月5日(土) 午前12時～19時30分

場所：東北朝鮮初中級学校

※日本の学校に通うウリトナムたちを招いて各種イベントで交流する催しです。

■ 永友会・青商会合同ゴルフコンペ、忘年会

日時：11月8日(火)

場所：盛岡ハイランドCC 9時集合 9:30 スタート

会費：3000円 ※プレー代 6800円(食事付)

※忘年会 明月館 6時～ 会費 5000円

■ 盛岡支部 情勢講演会

日時：11月9日(水) 午後2時～

場所：本部会館 3F

■ 県南支部 情勢講演会

日時：12月7日(水) 午後 5時～

場所：北上市生涯学習センター 3F

■ 県南会 忘年会

日時：12月7日(水) 午後 6時30分～

場所：北上市 「韓厨房」

■ 盛岡支部 忘年会・ボーリング大会

日時：12月8日(木) 午後5時30分～

場所：17:30～ ボーリング 盛岡スターレーン

19:30～ 忘年会 明月館

会費：3500円 (高校生以下は無料)

締切：12月1日 (651-0810 担当：姜)

ウリ信北東北組合員ゴルフ大会

9月8日、晴天の下行なわれた今回の大会は当初、大震災の影響で開催が問われたが、こういうときこそ繋がりや交流を強めることが大事と開催された。ちなみに優勝は朴徳根さん。団体優勝は岩手でした。



～訃報～

沼宮内在住の金泰守さんが病氣療養中のところ9月16日亡くなくなられました。葬儀は9月18日沼宮内の大蓮寺にて遺族と同胞らの参席のもとしめやかに執り行われました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

ドクター カンの健康講座



第105回 『放射線とがん』

忘れもしない3月11日の東日本大震災での福島原発事故から放射線が毎日のように取り上げられました。風評被害も甚大ですが気になるのはやはり放射線とがんの関係です。皆さんすでに耳にタコができるほど聞いた「シーベルト」や「ベクレル」。御承知のように放射線によって人体が影響を受ける単位がシーベルトで放射性物質が放射線を出す能力を表す単位がベクレルですね。

よく皆さんが検診やかぜで受ける「胸部エックス線写真」が0.05ミリシーベルト、バリウムを飲んで検査をする「胃エックス線写真」で0.6ミリシーベルト、そして胸部CTが0.9ミリシーベルトです。又人間は誰でも自然界からある程度の放射線を受けます。世界平均で年間2.4ミリシーベルト、日本では約1.4ミリシーベルトです。ちなみに1ミリシーベルトが1000マイクロシーベルトです。

被爆をすれば必ずがんになるというわけではありません。1000～2000ミリシーベルトと高い数値でも1.8倍のリスクです。100ミリシーベルト以下ではあまりよくわかっておらず例の「計画的避難区域」の基準が年間20ミリシーベルトのリスクは1.01倍とほとんど増えません。1時間1マイクロシーベルトで年間8.7ミリシーベルトですからほぼ胸部CTより少し多いだけです。従って実際はあまり神経質になる必要がないことがわかりでしょう。ただ体内に取り込んだ食物などに含まれる放射性物質からの被ばくである「内部被ばく」は胎児や小さい子供では量にもよりますが注意が必要です。

チェルノブイリ事故での子供の甲状腺がんは有名ですが基準の厳しい日本では心配は今のところありませんが母親は心配します。それよりがんになるリスクは生活習慣の「タバコ」「大量のアルコール」「やせ・肥満」「運動不足」「高塩分」「野菜不足」で放射線以上のリスクとなります。

タバコと大量のアルコール(ビール大ビン3本、日本酒3合)で1.6倍に増えますのでこれは1000ミリシーベルトと高い被ばくと同じリスクとなります。

従ってがんに関してもいかに生活習慣が大事かわかりになりましたか。

急に寒くなってきました。皆さん「かぜ」に気をつけて下さい。

(協力：幸クリニック院長 姜幸一先生)